

令和4年度 関東農政局生産部所管補助事業運営会議 評価対象事業一覧

課名	実施 年度	都県	事業名	事業実施主体	対象作物	取組内容	事業費(うち 国費)	目標 年度	成果目標値	計算 式区 分	【達成率の算出】	達成率 %	事業実施主体の自己評価	事業実施主体の自己評価を踏まえ、成果目標未達成 の場合、担当課の所見、 今後の指導の方向性等	再評価 (該当 は○)	備考 (含む前回達 成率)
										ア	実績/目標値					
										イ	(実績－基準年) ÷ (目標－基準年)					
1 生産技術環境課	H30	茨城県	農業生産工程管理推進事業交付金	茨城県		我が国の国際水準GAPの実施及び認証取得の拡大が加速的に進展するよう、都道府県が行うGAP指導体制の構築及びGAP認証の取得拡大の取組を支援することとする。	1,103,156円 (うち国費 1,103,516 円)	R3	GAP認証取得の取得拡大:目標値:60経営体、成果指標:21経営体	ア	21/60	35%	県主催のGAP研修会の開催や、外部専門家と普及員指導による現地指導により、新規認証経営体数は令和元年度から着実に増加し、延べ21経営体が認証を取得することができた(令和元年度:9経営体、令和2年度:5経営体、令和3年度:7経営体)。近年、取引先から生産者に対して、JGAP認証の取得を求める要請が増えてきていることから、引き続きGAP認証の取得を希望している生産者を対象にした研修会の開催や外部専門家や普及指導員による現地指導を実施していく。	本事業は、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、我が国の国際水準GAPの実施及び認証取得の拡大が飛躍的に進展するよう、都道府県が行うGAP指導体制の構築、GAP認証取得拡大の取組を支援するものであった。 本事業への取組の結果、認証取得の数値目標には達しなかったものの、県における指導体制が構築され、また、今後も認証取得数の着実な増加が見込まれることから、総合的に評価して当初の目的は達成されたと認められるため、評価については、今時で終了することとする。		14経営体数 23%
生産技術環境課	H30	栃木県	農業生産工程管理推進事業交付金	栃木県		我が国の国際水準GAPの実施及び認証取得の拡大が加速的に進展するよう、都道府県が行うGAP指導体制の構築及びGAP認証の取得拡大の取組を支援することとする。	2,199,036円 (うち国費 2,199,036 円)	R3	GAP認証取得の取得拡大:目標値:23経営体、成果指標:16経営体	ア	16/23	70%	GAP認証に意欲のある事業者に指導を行い、認証取得を支援することができた。コロナの影響により、GAP認証取得を志向する農業者は減少傾向にあるが、JA等と連携し、生産組織を中心としてGAP認証取得を推進している。 オリバラを契機として、GAPの重要性に対する農業者の認識は高まっており、少しずつではあるが認証取得拡大に繋げることが出来ている。 令和3年度までの認証に取り組む産地等への支援数は、6か年で延べ44産地等であった。引き続き指導していきたい。	本事業は、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、我が国の国際水準GAPの実施及び認証取得の拡大が飛躍的に進展するよう、都道府県が行うGAP指導体制の構築、GAP認証取得拡大の取組を支援するものであった。 本事業への取組の結果、認証取得の数値目標には達しなかったものの、県における指導体制が構築され、また、今後も認証取得数の着実な増加が見込まれることから、総合的に評価して当初の目的は達成されたと認められるため、評価については、今時で終了することとする。		14経営体 数 61%
生産技術環境課	H30	埼玉県	農業生産工程管理推進事業交付金	埼玉県		我が国の国際水準GAPの実施及び認証取得の拡大が加速的に進展するよう、都道府県が行うGAP指導体制の構築及びGAP認証の取得拡大の取組を支援することとする。	2,216,550円 (うち国費 2,216,550 円)	R3	GAP認証取得の取得拡大:目標値:100経営体、成果指標:89経営体	ア	89/100	89%	指導体制の構築については、令和3年度、GAP指導員を新規で33人育成し、3年間で合計104人育成した(達成度433%)。 GAP認証の取得拡大については、改善計画に基づき、GAP認証取得を支援した。令和3年度の新規取得経営体数は7経営体であった(達成度89%)。今後も、団体に重点を置いてGAPを推進するとともに、流通・加工業者や消費者等のGAP認知度を向上させ、GAP認証取得者が社会的に評価される気運の醸成を図り、GAP認証の取得拡大に繋げていく。	本事業は、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、我が国の国際水準GAPの実施及び認証取得の拡大が飛躍的に進展するよう、都道府県が行うGAP指導体制の構築、GAP認証取得拡大の取組を支援するものであった。 本事業への取組の結果、認証取得の数値目標には達しなかったものの、県における指導体制が構築され、また、今後も認証取得数の着実な増加が見込まれることから、総合的に評価して当初の目的は達成されたと認められるため、評価については、今時で終了することとする。		82経営体 82%
生産技術環境課	H30	千葉県	農業生産工程管理推進事業交付金	千葉県		我が国の国際水準GAPの実施及び認証取得の拡大が加速的に進展するよう、都道府県が行うGAP指導体制の構築及びGAP認証の取得拡大の取組を支援することとする。	1,496,675(うち国費 1,496,675 円)	R3	GAP認証取得の取得拡大:目標値:20経営体、成果指標:20経営体	ア	20/20	100%	令和3年度にGAP認証を新規取得した6経営体は、県単事業(公募型)の千葉県農業生産工程管理推進事業の補助金交付対象者であり、いずれもJGAP認証を新規取得した。うち3経営体は令和2年度千葉県農業生産工程管理推進事業を活用し、令和3年度に認証取得した。他の3経営体は令和3年度千葉県農業生産工程管理推進事業を活用し、令和3年度に認証取得した。また、認証取得に向けて、GAP指導員による個別指導を行った。 以上のことから、補助事業による支援とGAP指導員による直接的なGAP指導を組み合わせ、新規認証取得を支援し目標を達成した。	県単事業等による支援で、目標を達成した。		14経営体数 70%
生産技術環境課	H30	神奈川県	農業生産工程管理推進事業交付金	神奈川県		我が国の国際水準GAPの実施及び認証取得の拡大が加速的に進展するよう、都道府県が行うGAP指導体制の構築及びGAP認証の取得拡大の取組を支援することとする。	I 3,439,373円 (うち国費 3,439,373 円) II 816,318円 (うち国費 816,318円)	R3	I 指導体制の構築 GAP指導員の新規育成数 73名、成果指標:41名 II GAP認証の取得拡大 GAP認証の新規取得経営体数 21経営体、成果指標 10経営体	ア	I 41/73 II 10/21	I 56% II 48%	・農業者に対する国際水準GAPの実施に関する指導を積み重ね、令和3年度は新たに普及指導員7名がGAP指導員となり計41人となった。 また、新たにGAP認証の取得した経営体はいなかった。 ・GAP指導員数は、認証取得した経営体はいなかったが、指導実績を十分に重ね41名となり、目標の73名は達成できなかったものの令和2年度より7名増加した。GAP指導農業者数は、令和元年度が44人であったのに対し、令和2年度の210名には及ばないものの、令和3年度は154名に増加しており、指導員一人当たりの実績は大きく向上した。 また、産地に対し国際水準GAPの実施に関する指導を行い、認証取得への意識付けを行ったが、GAP認証の新規取得経営体数は、目標の21経営体を達成できなかった。しかし、GAP現地研修会において外部専門家による指導を行った結果、農業者のGAP認証取得への意欲が高まり、認証取得意向がある農業者も出てきており、今後、認証取得経営体数の増加が見込まれるため、引き続き指導していきたい。	本事業は、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、我が国の国際水準GAPの実施及び認証取得の拡大が飛躍的に進展するよう、都道府県が行うGAP指導体制の構築、GAP認証取得拡大の取組を支援するものであった。 本事業への取組の結果、認証取得の数値目標には達しなかったものの、県における指導体制が構築され、また、今後も認証取得数の着実な増加が見込まれることから、総合的に評価して当初の目的は達成されたと認められるため、評価については、今時で終了することとする。		10経営体数 48%

課名	実施 年度	都県	事業名	事業実施主体	対象作物	取組内容	事業費(うち 国費)	目標 年度	成果目標値	計算 式区 分	【達成率の算出】	達成率 %	事業実施主体の自己評価	事業実施主体の自己評価を踏まえ、成果目標未達成 の場合、担当課の所見、 今後の指導の方向性等	再評価 (該当 は○)	備考 (含む前回達 成率)
										ア	実績/目標値					
										イ	(実績－基準年) ÷ (目標－基準年)					
生産技術環境課	H30	山梨県	農業生産工程管理推進事業交付金	山梨県		我が国の国際水準GAPの実施及び認証取得の拡大が加速的に進展するよう、都道府県が行うGAP指導体制の構築及びGAP認証の取得拡大の取組を支援することとする。	554,439円 (うち国費 554,439円)	R3	GAP認証取得の取得拡大:目標値:9経営体、成果指標:8経営体	ア	8/9	88%	・国際水準GAPの認証取得を志向する農業者等に推進及び指導に取り組んだが、翌年度以降に認証取得を希望する農業者がいたことにより、実績が目標値を下回った。 ・改善計画により、JGAP指導員基礎研修(9名)を受講し、国際水準GAPの指導体制を構築した。また、国際水準GAPの認証取得を志向する農業者等への指導や研修会の開催(1回)を行い、1経営体が新規に取得した。	本事業は、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、我が国の国際水準GAPの実施及び認証取得の拡大が飛躍的に進展するよう、都道府県が行うGAP指導体制の構築、GAP認証取得拡大の取組を支援するものであった。 本事業への取組の結果、認証取得の数値目標には達しなかったものの、県における指導体制が構築され、また、今後も認証取得数の着実な増加が見込まれることから、総合的に評価して当初の目的は達成されたと認められるため、評価については、今時で終了することとする。		7経営体数 77%
1 生産技術環境課	H30	静岡県	農業生産工程管理推進事業交付金	静岡県		我が国の国際水準GAPの実施及び認証取得の拡大が加速的に進展するよう、都道府県が行うGAP指導体制の構築及びGAP認証の取得拡大の取組を支援することとする。	6,920,360円 (うち国費 6,920,360円)	R3	GAP認証取得の取得拡大:目標値:316経営体、成果指標:225経営体	ア	225/316	71%	・令和3年度に新たに2経営体に指導を行い、令和2年度までの実績223経営体と合わせてGAP認証の新規取得経営体数は225経営体となった。 ・野菜類の経営体で、新規のGAP認証取得が進んだ。 ・GAP研修会等でGAPに取り組む意欲のある農業者等を対象として、令和4年度も引き続きGAP認証取得の指導を行う。 ・平成30年度に認証取得を目指した農業者は、平成31年度の事業で認証取得を行ったため、平成30年度の実績が少なくなった。認証取得者を増やすため、令和2年度からは県独自予算でGAP指導者養成研修、JGAP指導員基礎研修及びASIAGAP指導員基礎差分研修を開催しており、指導者養成による農業者の認証取得支援を継続している(認証取得経営体数:平成30年度 114経営体、令和元年度 0経営体、令和2年度 109経営体、令和3年度 2経営体)。	本事業は、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、我が国の国際水準GAPの実施及び認証取得の拡大が飛躍的に進展するよう、都道府県が行うGAP指導体制の構築、GAP認証取得拡大の取組を支援するものであった。 本事業への取組の結果、認証取得の数値目標には達しなかったものの、県における指導体制が構築され、また、今後も認証取得数の着実な増加が見込まれることから、総合的に評価して当初の目的は達成されたと認められるため、評価については、今時で終了することとする。		223経営体 数 70%
1																